

# 困難を有する子ども若者の就学・就労支援

沖縄県

## 特定非営利活動法人 サポートセンターゆめさき

**実施団体:** 特定非営利活動法人  
サポートセンターゆめさき

**代表者:** 代表 宮城 隆



住所: 〒904-2171 沖縄市高原 7-34-29  
TEL: 098-930-1066 FAX: 098-930-1068

### 成り立ちと活動の全体像

1985年(昭和60年)登校拒否といわれた子どもたちの支援を始めたのがきっかけで、子どもの支援を行い、その後高校中退、ニート・引きこもりの支援を沖縄ではまだ、誰も行っていなかったので行って現在に至る。

### ゆめさき農園で野菜作り

若者自立塾を開始した頃、若者支援で畑作業をすることで若者たちが元気になった経緯があり、農場体験は私たちNPO法人の子ども若者たちが必ず行わせることをモットーとしています。農業体験で育った野菜は家にもち帰り料理をしてもらったり、食育で「朝食クラブ」ということでみんなでその野菜を使い食事を作ったり、みんなで食事をしています。

## 沿革

- 平成 6 年 4 月 (社)日本青少年育成協会沖縄支部設立
- 平成 16 年 4 月 通信制高校沖縄学習センターの設立
- 平成 17 年 7 月 厚労省委託「若者自立塾」モデル事業～終了まで
- 平成 18 年 4 月 厚労省委託「地域若者サポートステーション沖縄」
- 平成 22 年 4 月 “ 「基金訓練合宿型自立プログラム」
- 平成 23 年 4 月 “ 「継続支援事業」
- 平成 26 年 4 月 “ 「地域若者サポートステーション琉球」設立
- 平成 26 年 10 月 沖縄県子ども若者総合相談センター「子ども若者みらい相談プラザ sorae」設立

## 主な活動

上記に記入できませんでしたが、昭和 60 年(1985 年)より不登校支援を始めている。その後、高校中退の生徒の高校卒業の資格をあたえるため、現在「夢咲学園」という通信制高校も運営。「フリースペースゆめさき」では、小・中・高生の不登校の児童生徒の居場所として出席扱いで学校長よりあずかっている。その他、就労ではサポステを運営しニート・引きこもりの若者を就労させている。発達障がいなどの児童サービス「ゆめさきクラブ」も運営。生活困窮のこどもたち、若者たちの支援も平成 24・25・26 年と 3 年間行い、今年で終了するがこの部分の支援をこれからどうするかメドがたっていない。継続で 86 名がいる。これは平成 27 年度へも引き続き支援を行う。



I'll just be myself ! (自分らしく)  
私たちは一人一人の個性を大切にします  
個の力を引き出し、「自分らしく歩む」社会づくりに貢献します

## 沖縄県

### NPO 法人 夢 WALK

**支援対象:** ひきこもり・不登校・ニート状況にある中高生、その他  
(おおむね 39 歳以下の若年者) 及びその家族

**支援方法:** 主な支援内容は、居場所の提供、体験活動の提供、  
相談支援。支援方法は電話相談、来所相談、通所による支援、訪問による支援。

**スタッフ数:** 6 名

**実施団体:** NPO 法人夢 WALK

**代表者:** 平良 和之



住所: 〒901-2126 沖縄県浦添市宮城 4 丁目 22 番 6-101 号  
マンションMK  
TEL: 098-955-2472 FAX: 098-955-2472  
e-mail: d.walk@at.au-hikari.ne.jp

#### 夢 WALK の成り立ちと活動

人は皆、社会の中でいきいきと暮らしたいと思っていますが、社会に居場所を見つけられず困っている方々が増えています。また、複雑、多様化する社会において、子育ては親や家族だけが担う事も困難な状況となっています。近年、社会問題となっているひきこもり、不登校の当事者やその家族に対する支援はまだまだ整っていない状況です。ひきこもりや不登校、ニートに共通するキーワードは「居場所」そして「支え」です。当団体は、ひきこもりや不登校、ニートの経験者を中心に発足致しました。自身の経験から、その時感じたことや家族への思い、また当事者に関わる全ての方々の思いなどをそれぞれの立場からサポートする、ピアサポートを中心に活動しており、当事者やご家族の方が安心して前向きに生活できるよう、共に考え、歩んでいきたいと考えています。

#### はじめの一步は好きなことから・・・

当事者の方々は、居場所に出かけて来ることはおろか人と会い話すことさえ、とても勇気を必要とします。本人と何度かお会いする中で、安心して過ごせる場所として認識してもらい、興味のあることや好きなことから人と関わるきっかけづくりを考え、スタッフと一緒に場や時間を共有します。ある事例では、数回来所する中で、居場所に用意してあった折り紙を見て「私折り紙得意なんです」との発言が聞かれ、以降折り紙を用いた活動を通して、人とのコミュニケーションが自然な形でとれるようになりました。また、緊張することなく居場所の利用もできるようになり、現在は笑顔で来所されています。このように、得意とする作業を用いることで、心身のリラックス効果を得ることも期待できます。また、作業の構成能力を観察し、日常生活や学習面において、どのような部分で支障をきたしているのかを見極めることもできます。個人の短所だけに目を向けると、出来ない

## 沿革

- 平成 24 年 2 月 任意団体 N P O 夢 W A L K として活動開始
- 平成 24 年 6 月 ~ 地域の公民館において毎月 1 回、当事者及び家族の会、個別相談会を開催。
- 平成 25 年 9 月 沖縄県「地域子育て支援事業」により、ひきこもり、不登校、ニートに悩む当事者及び家族支援の場「らなっぷ」を開設。
- 平成 26 年 3 月 N P O 法人 夢 W A L K 設立
- 平成 26 年 11 月 沖縄県「地域子ども・若者支援活動補助事業」

## 主な活動

### 個別相談・訪問サポート

社会参加に不安を感じている方やそのご家族を対象に相談窓口を設置。必要に応じて訪問による相談も可能。

### 社会参加につなげる支援

社会生活技能訓練 ( S S T ) や様々な作業、地域における体験活動を通して、社会参加へとつないでいきます。

### コミュニティスペースの提供

社会参加に不安を感じている方やそのご家族が、他者と場を共有し、様々な活動を通して、個人の目標とすることに向かい歩むことができる居場所。

## スタッフも自分らしく、楽しく

ことをどのように克服していくのか？と支援に取り組み、結果、スタッフと当事者の両方が苦しむだけの支援になります。しかし、長所を発見することで、好きなことを通して、短所を克服する方法を考えることができます。よりよい支援をするためには、やはり好きなものを見つけることが大切だと思っています。



スタッフもひきこもりや不登校など、様々な体験をしてきた当事者であり、日々行われるスタッフミーティングの中でも、自分自身の体験を振り返りながら、今向かい合っている当事者やその家族の状況を把握することに努めています。スタッフの中には当事業所で働くようになり、「今まで隠したかった過去を開示し、支援することで、他者に対して安心や希望を提供できる喜びを知った」との言葉も聞かれるなど、支援される方々だけでなく、支援する方も共に成長できると感じています。また、日々スタッフ間で確認し心がけている「I'll just be myself! (自分らしく)」を実践することで、当事者の方々の笑顔や発言も増え相乗効果になっています。

# 1口1000円からできる、 沖縄の子どもたちの未来をサポート

沖縄県

## にじのはしファンド

**支援対象:** 沖縄県内の児童養護施設、ファミリーホーム、里親家庭を巣立った子どもたち

**支援方法:** 進学、資格取得の経済的支援

**スタッフ数:** 5名

**実施団体:** にじのはしファンド

**代表者:** 系数 未希



住所: 〒902-0071 沖縄県那覇市繁多川4-22-6  
TEL: 080-6482-8484 FAX: 098-943-6269  
e-mail: nijinohashi.okinawa@gmail.com  
URL: <http://nijinohashi-fund.blogspot.jp/>

### 成り立ちと活動の全体像

児童養護施設を訪問する機会があった際に、その施設を卒業して県外の大学で学ぶYくんのことを知りました。

彼は大学2年生で、学費や生活費はもう限界でこのままでは中退するだろう、との話がありました。その時、施設を出た後の支援、特に経済的な支援がないことを知り、このお子さんを卒業までサポートしたいが、どうにかできないかと考えました。そこに、友人がある情報を教えてくれました。50年前、沖縄の首里の母親たちが、経済的な理由で勉学を継続できない子どもたちのために、毎月の家計から豆腐一丁分を節約して奨学金を作り出し、30年間継続されたとのことでした。

これだ！と思い、サポーターを募って毎月1口千円を銀行自動引落で集め、親代わりに毎月子どもたちの口座に仕送りをする、返済不要の奨学金の仕組みを作りました。

また、具体的な子どもたちの様子がわかることによって、できるだけ長く継続した支援ができるよ

うに、子どもたちから毎月メールでお便りをもらいサポーターの方が読めるようにブログに載せています。

現在9名の子どもたちをサポートしていますが、来年度は10名増えるので、新規サポーターを募集しながら、合計19名のサポートをしていきます。

### 卒業第1号のYくん

2011年4月から支援をスタートした当会第1号のYくんは、無事に2013年春、大学から表彰されるほど優秀な成績で大学を卒業しました。

毎月5万円の支援をしっかりと2年間出来たのはサポーターのみなさんのおかげです。

そして、彼は念願の福祉の仕事をしています。

将来は、自分がお世話になった児童養護施設で仕事をしたいと言っていたYくん。夢への一歩をしっかりとつかんで、現場でがんばっています。

## 沿革

平成 23 年 1 月 8 日 設立  
平成 23 年 4 月 1 日 支援開始 (1 名)  
平成 24 年 4 月 1 日 新規学生 5 名追加  
で合計 6 名支援  
平成 25 年 1 月 資格取得支援第 1 号  
(運転免許 1 名)  
平成 25 年 3 月 進学支援第 1 号卒業  
平成 26 年 3 月 進学支援第 2 号卒業  
平成 26 年 4 月 1 日 新規学生 5 名追加  
で合計 7 名支援  
平成 26 年 8 月 1 日 新規学生 1 名追加  
で合計 8 支援

## 主な活動

- (1) サポーターの募集
- (2) 支援を必要とする子どもの募集
- (3) 進学した子どもの学生期間の生活支援
- (4) 子どもの免許取得、資格取得のための資金援助
- (5) ブログや書面による定期的な状況報告

## 年賀状

2012 年 4 月から専門学校に進学した E くんは、2 年次に上がる前にとっても悩んだ末に休学し、2013 年春、県外の季節労働へと飛び立ちました。

施設を出た後、学校に通いながらバイトをし、介護の必要な両親の面倒を見ていました。当会も、休学の知らせを受けて初めて、彼の進学とバイト、家族のお世話の大変さを実感し、もっと支援できなかったのかと反省もありました。でも、進学を一旦やめて県外で仕事をするこも、彼の人生にとって必要なことだと思い、彼の選を尊重しました。

そして、2015 年、彼から年賀状が届きました。「・・・今度は僕も色々な人達を応援できるよう頑張ります。」卒業まで支援できなかったけど、私たちの支援は卒業が全てではないんだな、と彼の言葉から学びました。卒業できなかったとしても、彼のように自分も応援してもらったから、応援する側にまわりたい、そんな志を持つことができる人間と

して成長した彼を心から誇りに思います。  
にじのはしファンドが彼と出会えて本当によかったと思います。



# 「非行」に悩む親たちへ 1人で悩まないで

熊本県

## 雨やどりの会 (熊本「非行」と向き合う親たちの会)

**支援方法:** 例会において互いに悩みを語り、学び、支え合う、通信の発行・相談活動

**スタッフ数:** 世話人 15人

**実施団体:** 雨やどりの会(熊本「非行」と向き合う親たちの会)

**代表者:** 足立 真理子

住所:〒860-0970 熊本市中央区渡鹿 5-5-33  
TEL: 096-366-7626 FAX: 096-366-7546

### 成り立ちと活動の全体像

安心して語り合い支え合い学び合うことを大切にしています。その中で、一人一人が安心感を得、萎えていた力が回復するように思います。個別の問題で、世話人が動いたりもしますが、あくまで安心して語ることができるよう通信も会員内だけの配付にしています。

### 沿革

平成 15 年 2 月 雨宿りの会発足

平成 23 年 9 月 本『揺れながら』出版

### 主な活動

- ・月 1 回悩みを語り合う例会(互いに支え合い学び合う)
- ・月 1 回通信の発行(落ち込んだ時の支え)
- ・年 3~4 回の学習会、講演会(子どもの状況・思いなど広く深く学ぶ)
- ・電話相談、面接相談
- ・熊本市子ども若者総合相談室にて非行の電話相談担当
- ・他団体との連携、非行に関わる公的機関・民間団体・個人等

# つどう・つながる・ささえる

大分県

## 社会福祉法人 清浄園 児童家庭支援センター和

**支援対象:** 乳幼児・小学生・中学生・高校生年代すべて

**スタッフ数:** 5名

**実施団体:** 社会福祉法人

清浄園児童家庭支援センター和

**代表者:** 出納 皓雄



住所: 〒871-0153 大分県中津市大貞 383-34  
TEL: 0979-53-7666 FAX: 0979-58-8112  
e-mail: yawaragi@image.ocn.ne.jp

### 成り立ちと活動の全体像

地域に根ざした子どもの養育の専門機関としての実績を生かし、24時間いつでも相談に応じるとともに、地域の児童の福祉に関する各般の問題につき子ども自身や親、地域からの相談と一緒に考えていくという、懇切丁寧な姿勢で地域の福祉ニーズに即した援助を行う。また、関係機関との連携をもとに効果的かつ総合的な支援を行い児童及びその家庭、地域の福祉の増進を図る。

### ペアレント・トレーニング(子どものしつけ講座)

当センターでは地域の子育て支援の核となる事を目的に、子育てやしつけの方法等育児不安を抱えた保護者を対象に CSP(コモンセンスペアレンティング)教室(以下「子どものしつけ講座」)を開催しています。講義・モデリング(モデルDVD視

聴)・ロールプレイの3構成からなり、子どものしつけ講座を通して、効果的なしつけ方法を学ぶことで親子関係が安定し、また同じ悩みを抱えた保護者同士が自身の悩みを語り合うことで育児不安やストレス解消の場となっています。

### プレイルームの地域開放

水曜日を除く毎日午前10時から午後5時までの間、当センターのプレイルームを地域の母子に開放している。児童家庭支援センターの大きな機能の一つとして、養護・養育ニーズの発掘が挙げられる。地域の母子と直接触れあうことで、地域ニーズを的確に把握し、必要とされるプログラムを展開する。また、直接的な子ども家庭支援サービスを提供していくことで地域からの信頼を得て、地域の子育て支援の拠点となっている。

### 沿革

平成19年2月 児童家庭支援センター和(やわらぎ)開設

### 主な活動

- 1 24時間の子育て相談受付
- 2 「ショートステイ・トワイライトステイ」事業市役所と委託契約を結び、疾病などの理由により家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合一定期間に養育の支援を行う
- 3 ペアレントトレーニングや母親グループワーク等の各種子育て支援事業の展開
- 4 当センターでのしつけ講座を実施、講師として職員の派遣



# 沖縄県の教育振興に寄与したい

沖縄県

## 公益財団法人儀間教育振興会

**支援対象:** 経済的な理由により、修学が困難な学生

**支援方法:** 学資等の援助

**スタッフ数:** 1 名

**実施団体:** 同法人

**代表者:** 代表理事 儀間 幸子



住所:〒901-2123 沖縄県浦添市西洲 2-3-1(2階)  
TEL: 098-875-3860 FAX: 098-875-3860

### 成り立ちと活動の全体像

当法人は、1993年(平成5年)9月20日にジーマ(株)創業者の儀間常亀によって設立されました。自身も苦学生として修学し、将来は勉学に励む苦学生を支援し、貢献したいという思いが実現されました。1年間に限り大学生に月額3万円、専門学生・高校生・交通遺児に同2万円を無償支給しております。平成26年度までの支給対象は、延べ1,031名、支給額は、2億9,294万円になりました。



### ある日の活動風景

- (1) 決定奨学生へ証書授与式  
毎年、決定した奨学生に対して、関係者及びご家族の方をお招きし奨学生証書の授与式、懇親会等を実施しております。
- (2) 毎年度、他の団体(公益法人)へ寄付をおこなっております。



那覇市育英会への寄附(平成24年度)

### 沿革

- 平成5年9月 ジーマ(株)創業者  
儀間 常亀により設立  
平成24年4月 公益財団の移行認定を  
受ける

### 主な活動

- 学生への援助**  
経済的な理由により、修学が困難な学生に対しての学資等の援助
- 交通遺児に対する援助**  
(公財)沖縄県交通遺児育成会へ委託し推薦者への援助
- 寄付活動**  
他の団体(類似の公益法人)への寄附

# そこに何もしなければ何も生まれない

## 沖縄県

### 一般社団法人 北部農林高等学校後援会

- 支援対象:** ・ 沖縄県北部農林高等学校(学校・生徒・学生)への支援援助・北部農林高等学校同窓会への支援援助・社会貢献・社会奉仕・社会福祉
- 支援方法:** ・ 北農生及び学生への奨学金給付・北農校への学校行事補助金の支給・北農生徒の活動補助及び研修補助・同窓会共同事業及び連学補助・社会貢献及び社会福祉
- スタッフ数:** ・ 理事数 11 名・監事数 2 名・財産管理委員 4 名・職員 2 名
- 実施団体:** 一般社団法人 北部農林高等学校後援会
- 代表者:** 理事長 安田 栄蔵

住所: 〒905-0000 沖縄県名護市字茂佐 1 番地  
TEL: 0980-54-4431 FAX: 0980-52-1460

## 沿革

- 昭和 25 年 11 月** 沖縄県第 1 号として「公益社団法人北部農林高等学校後援会」として結成
- 平成 24 年 12 月** 一般社団法人移行認定申請
- 平成 24 年 12 月** 一般社団法人許可される

## 主な活動

- ・ 北農在校生・卒業生等への奨学金給付事業
- ・ 北農高校の教育活動への支援援助事業
- ・ 北農同窓会との連携・協同事業の推進
- ・ 社会貢献・社会奉仕

## 鹿児島県

### 鹿児島県青年司法書士会

**スタッフ数:** 正会員 79名 正賛会員 50名

**実施団体:** 鹿児島県青年司法書士会

**代表者:** 内田 雅之

住所: 〒892-0816 鹿児島市山下町 12-5

TEL: 099-223-1340

e-mail: uchidamasayuki@voice-ocn-ne.jp

#### 沿革

昭和50年5月 設立

#### 主な活動

- ・ 児童養護施設や更生保護施設における法律教室、法律相談会の開催

## 福岡県

### NPO 法人 青少年の自立を支える福岡の会

**支援対象:** 義務教育終了後の青少年

**支援方法:** 生活・就労支援

**実施団体:** NPO 法人青少年の自立を支える福岡の会

住所: 〒814-0144 福岡県福岡市城南区梅林 1-1-21

TEL: 092-405-7808 FAX: 092-400-7678

e-mail: kanransya@nifty.com